

平成23年11月1日

社団法人全日本病院協会 御中

中部電力株式会社

今冬における節電のお願いについて

謹啓 貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社事業について格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今夏の電力需給におきましては、貴社をはじめとした、大変多くの皆さまにご協力いただいたおかげをもちまして、安定的に電力を供給することができました。多大なご協力に、重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、今冬の電力需給見通しにおきましては、火力発電所の定期点検の期間短縮や工期変更等による供給力の上積みにも最大限取り組みましたが、供給予備率については、7%程度となる見通しであり、安定供給の目安である適正予備率(8%~10%)を下回ります。

そのため、お客さまにおかれましては、誠にご迷惑をおかけいたしますが、営業活動に支障のない範囲での節電にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

弊社といたしましては、発電所および送変電設備の重点的な点検・保守を確実に実施し、中部地域の電力の安定供給に万全を期してまいります。

何とぞご理解ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬 白

1 今冬の電力需給見通し

今冬の最大電力は、お客さまの節電意識の高まりによる需要抑制があると考えられる一方、産業用需要を中心とした需要増加が見込まれることから、当初計画（平成23年度供給計画）と同じ、2,319万kW（2012年1月・2月）と見込んでおります。

また、供給力については、火力発電所の定期点検の期間短縮や工期変更、水力発電所の補修工程の見直し等に最大限取り組み、157万kW上積みすることにより最大で2,487万kW（2012年2月）となる見通しです。

これらにより、今冬の供給予備率は、7%程度となる見通しであり、安定供給の目安である適正予備率（8～10%）を下回ります。そのため、お客さまには誠にご迷惑をおかけいたしますが、生活や営業活動に支障のない範囲での節電のご協力をお願い申し上げます。

<今冬の供給力対策反映後>

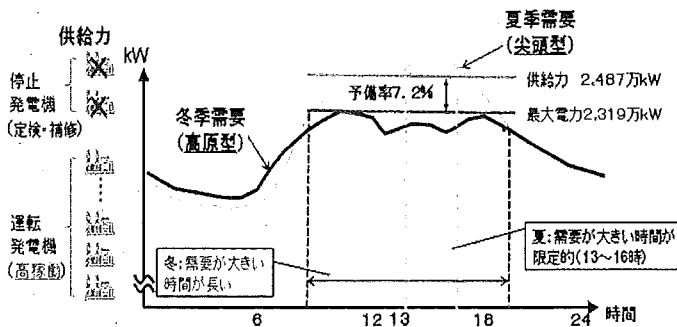
(万kW)

	12月	1月	2月
最大電力(A)	2,214	2,319	2,319
供給力(D)	2,387	2,478	2,487
供給予備力(D-A)	173	159	168
供給予備率(%)	7.8	6.9	7.2

2 節電をお願いする期間

平成23年12月1日～平成24年2月29日

3 今冬の需給状況～今夏の需給状況との対比～



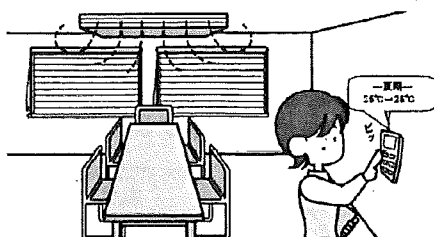
○冬季は、暖房や照明のご使用が多くなるため、夏季に比べて、1日のうちで**電力需要が大きい時間帯が長くなります。**

○浜岡原子力発電所の全号機停止により、今夏の需給対策として火力発電所の定期点検を繰り延べた結果、**今冬は、運転可能な発電機（供給力）が減り、火力発電所の稼働率が極めて高い状態となります（供給余力が少ない時間帯が夏季に比べて長くなります）。**

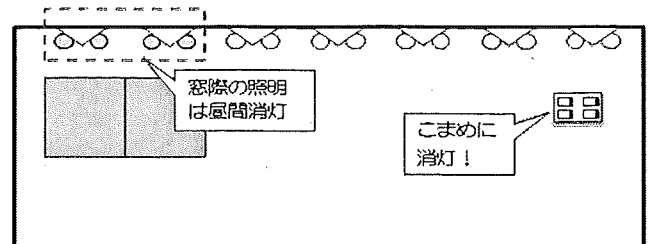
4 業務用分野の使用用途節電例

業務用分野は、オフィスビル・スーパー・飲食店などで、電力使用量の多い空調・照明用途の節電手法例です。

☆ 空調温度を20℃に設定



☆ 不要な照明の消灯



出典：省エネルギーセンター「ビルの省エネガイドブック」

今冬の需給見通しについて

【今冬の需給見通し】

本年、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、多くの発電所が停止した中で、今夏の節電について、広く社会の皆さまよりご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。当社はこのたび、今冬の需給見通しを取りまとめましたのでお知らせいたします。

今冬につきましては、定期検査に入る予定の柏崎刈羽原子力発電所5号機などの減少要因があるものの、一方で、地震により被災した共同火力の一部運転開始などの増加要因を織り込んだ結果、5,490万kW(12月末)、5,460万kW(1月末)、5,370万kW(2月末)の供給力を確保できる見通しとなりました。

なお、これは、昨年冬期の最大電力である5,150万kWに対して220~340万kW程度の供給予備力を確保できることとなります。

<各月の需給見通し>

	12月末	1月末	2月末
需要(発電端1日最大) ^{※1}	5,150	5,150	5,150
供給力	5,490	5,460	5,370
予備力	340	310	220

<各月の供給力内訳>

設備別	(参考) 8月末 ^{※2}			(万kW)		
	12月末	1月末	2月末	12月末	1月末	2月末
〔自社〕 + 〔他社〕	一般水力	310	220	200		
	揚水式水力	700	800	800		
火力 ^{※3}		4,280 (160)	4,300 (140)	4,230 (130)		
	原子力	250	140	140		
融通	40	0	0			
合計	5,580	5,460	5,370			

上記のとおり、今冬は安定供給を確保できる見通しですが、電源の計画外停止や急激な気温の変化による需要増加の可能性もことから、お客さまにおかれましては、無理のない範囲での節電へのご協力をお願いいたします。

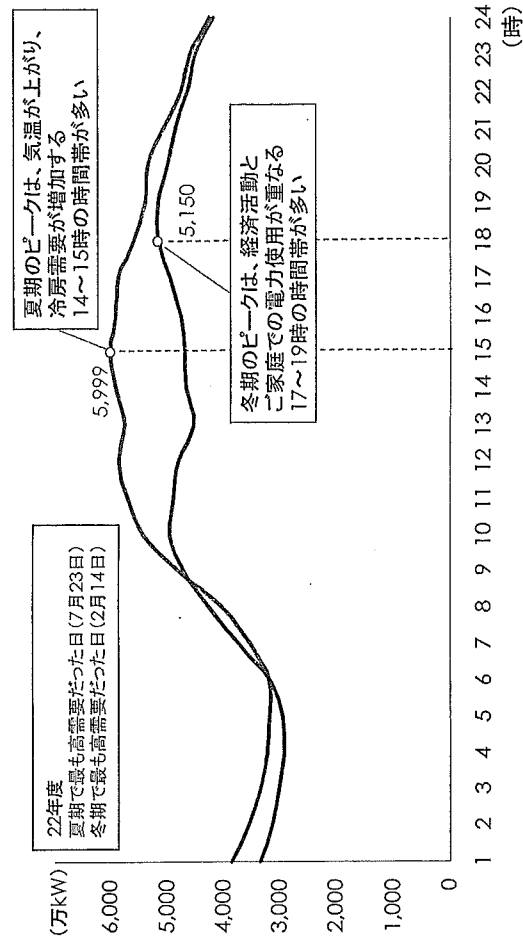
当社は、引き続き計画停電の「原則不実施」を継続するために、供給力を着実に確保するとともに、電力設備の確実な運転・保守に努めてまいります。

※1 需要は平成22年度実績(平成23年2月14日)

※2 平成23年8月19日プレス発表時の8月末供給力

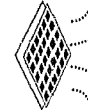
※3 火力は「自家発電兼購入等」の内訳を()に再掲

【冬期における電力需要の特徴】



【オフィス等における省エネのポイント】

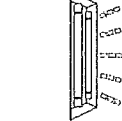
空調



設定温度の調整を

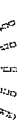
適正な温度設定による空調をおすすめします。また、使用していないエリアの空調を停止すると省エネになります。

照明



使用しないエリアは消灯を

使用しないエリアの間引き・消灯を行うと省エネになります。



電源設定の見直し

一定時間使用しない場合は、「システムスタンバイ」が適用されるような設定にしておくこと、メモリー以外の機能が全てスリープ状態となり省エネになります。

※本資料の有エネ効果は条件によって異なる場合があります。

以上

2. 供給対策

(1) 追加供給の見込みについて

- ・被災火力の復旧、発電所の定期検査時期の調整、自家発の活用、緊急設置電源の設置などによって、来夏には全国で409万kW¹の供給力の増加等を見込む。
- ・今後とも更なる供給力強化に取り組んでいく。

【表3：各社の追加対策後の供給力²】

(今冬)

	北海道	東北	東京	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
供給力対策										
①火力・水力の定期検査・補修時期の調整	44万kW	—	—	14万kW	209万kW	59万kW	37万kW	15万kW	137万kW	515万kW
②被災火力の復旧	—	141万kW	106万kW	—	—	—	—	—	—	247万kW
③長期停止火力の再稼働	—	—	—	—	—	—	—	22万kW	—	22万kW
④自家発の活用	対応中	41万kW	139万kW	—	100万kW	3万kW	—	13万kW	9万kW	305万kW
⑤火力の増出力	—	10万kW	50万kW ^{注1}	10万kW ^{注1}	10万kW	—	—	2万kW ^{注1}	13万kW	33万kW
⑥緊急設置電源の設置	—	4万kW	169万kW	—	—	—	—	—	—	174万kW
⑦揚水発電の活用	27万kW	68万kW	800万kW	335万kW	209万kW	10万kW	83万kW	38万kW	158万kW	1,729万kW
⑧機動的な電力融通	—	—	—	— (夜間最大70)	58万kW (夜間最大87)	▲3万kW (夜間最大▲2)	▲55万kW (夜間最大▲30)	—	— (夜間最大25)	—
⑨蓄電池の設置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 需給バランスが確保されているため、今冬の供給力対策には織り込んでいないが、緊急時には増出力が可能。

(来夏)

	北海道	東北	東京	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
供給力対策										
①火力・水力の定期検査・補修時期の調整	25万kW	—	—	調整中	3万kW	25万kW	40万kW	▲35万kW	2万kW	60万kW
②被災火力の復旧 ^{注2}	—	41万kW	—	—	—	—	—	—	—	41万kW
③長期停止火力の再稼働 ^{注3}	—	—	—	—	45万kW	—	—	—	98万kW	83万kW
④自家発の活用	対応中	14万kW	146万kW	—	100万kW	—	—	13万kW	12万kW	285万kW
⑤火力の増出力	—	10万kW	60万kW	10万kW ^{注1}	10万kW	—	—	—	—	80万kW
⑥緊急設置電源の設置	—	87万kW	221万kW	—	—	—	—	—	—	308万kW ^{注3}
⑦揚水発電の活用	35万kW	71万kW	800万kW	400万kW	187万kW	11万kW	162万kW	52万kW	230万kW	1,048万kW
⑧機動的な電力融通	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑨蓄電池の設置	—	8万kW	—	—	—	—	—	—	—	8万kW

※1 需給バランスが確保されているため、来夏の供給力対策には織り込んでいないが、緊急時には増出力が可能。

※2 今冬に計上したものは、再掲していない。

※3 さらに+13万kWの設置可能性がある。

注1) 夜間融通等の受電不足に伴う揚水汲み上げ電力不足により、東京▲100万kW、関西▲78万kWの可能性あり。

注2) 燃料調達・輸送制約による石油火力及び揚水供給力減(九州▲337万kW)のおそれあり。

注3) 長期停止火力の復帰の遅れの可能性あり(関西▲45万kW)

- 7月29日のエネルギー・環境会議において示した来夏の見通しからの増加分。
- 【表3】の追加対策後の供給力とは、原則として平成23年8月11日に発生した東日本大震災以降の積み増し後の供給力。

なお、需給動向については今後も変化すると見込まれるが、これらの追加供給対策後の現時点において想定される来夏の需給見通しについては以下のとおり。

	(万kW)	北海道	東北	東京	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	東3社	中西6社	9電力
8月	供給一需要 (予備率)	▲33 (▲6.6%)	▲28 (▲1.9%)	▲294 (▲4.9%)	7 (0.3%)	▲785 (▲25.0%)	12 (2.0%)	73 (6.1%)	▲49 (▲8.2%)	▲162 (▲9.3%)	▲356 (▲4.4%)	▲905 (▲9.1%)	▲1,261 (▲7.0%)
	最大電力需要	506	1,490	6,000	2,709	3,138	573	1,201	597	1,750	7,996	9,968	17,964
	供給力	473	1,462	5,706	2,716	2,353	585	1,274	547	1,588	7,640	9,063	16,703

※1 最大電力需要については昨年並の猛暑を想定。ただし、東北管内においては震災からの復興需要を考慮。

※2 これらの供給力強化以外に、緊急設置電源の新設等、更なる増強の可能性あり(+13万kW)。

注1) 夜間融通等の受電不足に伴う揚水汲み上げ電力不足により、東京▲100万kW、関西▲78万kWの可能性あり。

注2) 燃料調達に係る輸送力等の制約による石油火力及び揚水供給力減(九州▲337万kW)のおそれあり。

注3) 長期停止火力の復帰の遅れの可能性あり(関西▲45万kW) (合計▲560万kW)

	(万kW)	北海道	東北	東京	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	東3社	中西6社	9電力
8月	供給-需要 (予備率)	▲33 (▲6.6%)	▲28 (▲1.9%)	▲294 (▲4.9%)	7 (0.3%)	▲785 (▲25.0%)	12 (2.0%)	73 (6.1%)	▲49 (▲8.2%)	▲162 (▲9.3%)	▲355 (▲4.4%)	▲905 (▲9.1%)	▲1,261 (▲7.0%)
	最大電力需要	506	1,490	6,000	2,709	3,138	573	1,201	597	1,750	7,996	9,968	17,964
	供給力	473	1,462	5,706	2,716	2,353	585	1,274	547	1,588	7,640	9,063	16,703

※1 最大電力需要については昨年並の猛暑を想定。ただし、東北管内においては震災からの復興需要を考慮。
 ※2 これらの供給力強化以外に、緊急設置電源の新設等、更なる増強の可能性あり(+13万kW)。

注1) 夜間融通等の受電不足に伴う揚水汲み上げ電力不足により、東京▲100万kW、関西▲78万kWの可能性あり。
 注2) 燃料調達に係る輸送力等の制約による石油火力及び揚水供給力減(九州▲337万kW)のおそれあり。
 注3) 長期停止火力の復帰の遅れの可能性あり(関西▲45万kW) (合計▲560万kW)

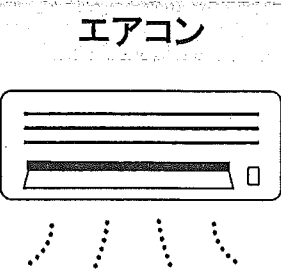
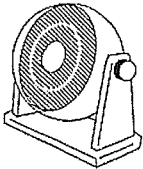


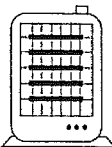
冬の「電気の上手な使い方」

この夏の節電へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

この冬は、電力の安定供給を確保できる見通しですが、電気を効率よくお使いいただくためのご家庭や企業などにおける省エネのポイントをご紹介します。

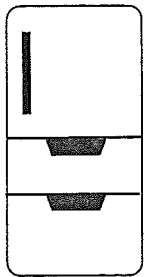
ご家庭のお客さまへ

暖房機器は、エアコン、こたつ、電気カーペット、電気ストーブなど種類によって暖まり方が違います。寒い冬を暖かく過ごすために、機器を上手に選んでお使いいただきますようお願いいたします。

暖房機器	特徴	省エネのポイント
<p>エアコン</p> 	<p>部屋全体を効率的に暖めるには、エアコンが最適です。</p>	<p>フィルターの掃除はこまめに フィルターは、2週間に一度を目安に清掃すると、ホコリの目詰まりによる暖房能力の低下を防ぐことができます。 ※自動清掃機能が付いているタイプはこの機能を利用しましょう。</p> <p>カーテンやブラインドなどで冷気の進入をカット 日射がない時間に部屋を暖める場合は、カーテンやブラインドを閉めて窓から冷気が入ってくるのを防ぐと省エネになります。</p> <p>風向きは下向きに 暖かい空気は上昇するため、効率よく部屋を暖めるにはエアコンの風向きを下向きにしましょう。また、扇風機やサーキュレーターで天井にたまりがちな暖気を循環させるとより効率的です。</p> 
<p>こたつ</p> 	<p>足元全体が暖まります。</p>	<p>機器本体と床との間に敷物を こたつの掛け布団は2枚に 機器本体の下に断熱効果のあるマットなどを敷くと、熱が床下に逃げにくくなり、省エネになります。 また、こたつは掛け布団を2枚にすることで、保温効果を高め、設定温度を低めにしても暖かく感じられます。</p>
<p>電気カーペット</p> 	<p>接触した部分から熱が伝わり、部屋の広さ・使い方にあわせて大きさが選べます。</p>	
<p>電気ストーブなど</p> 	<p>速暖性があり、温風暖房や輻射暖房など種類が多く、用途に応じて選べます。</p>	<p>機器を上手に選んで必要な暖かさを 電気ストーブ、パネルヒーター、ハロゲンヒーターなどは、短時間使用する寒い脱衣所やトイレなど、部分的に暖めたい時に活用することをおすすめします。</p>

その他の機器も、使い方や選び方の工夫で省エネにつながります。

冷蔵庫



設定温度の再確認を

食品の入れ具合に応じて、冷蔵庫が冷え過ぎと感じた場合には設定温度を「弱」にすることで省エネになります。

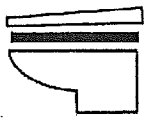
扉の開閉は短く少なく

普段から冷蔵庫の中は整理整頓しておき、ムダな開閉を減らすと省エネになります。

できるだけ放熱スペースを

冷蔵庫まわりのすき間を多くすると消費電力量が少なくなります。特に冷蔵庫の上には物を置かず、上部を開放すると省エネになります。

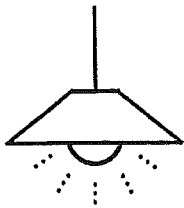
温水洗浄便座



フタを閉める

使用後にフタを閉めると暖房している便座からの放熱が抑えられるので、省エネになります。

照明



電球の取り替え時には省エネ性の高いランプを

白熱電球から電球形蛍光灯や電球形LEDランプに取り替えると省エネになります。

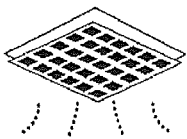
※電球形LEDランプは、ランプによって光の拡がりには違いがありますので、パッケージ表示を確認して使用目的に応じて適切に選びましょう。

調光機能を使う

調光機能がついているタイプは、必要な明るさに調節することをおすすめします。

ビル・工場などのお客さまへ

空調

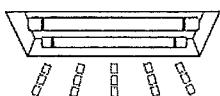


設定温度の調整を

適正な温度設定による空調をおすすめします。

また、使用していないエリアの空調を停止すると省エネになります。

照明



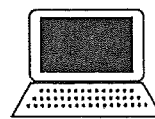
使用しないエリアは消灯を

使用しないエリアの間引き・消灯を行うと省エネになります。

照明の取り替え時には省エネ型を

省エネ型蛍光灯やLED照明などへ取り替えると省エネになります。

パソコン



電源設定の見直し

一定時間使用しない場合は、「システムスタンバイ」が適用されるような設定にしておくと、メモリー以外の機能が全てスリープ状態となり省エネになります。

※本資料の省エネ効果は条件によって異なる場合があります。

省エネに関する情報はホームページでもご紹介しています。<http://www.tepco.co.jp/setsuden/>